

高円宮殿下メモリアル 第26回日本マスタースオーケストラキャンプ

10

JAOマスタースオーケストラ

初春コンサート

日本各地で活躍するアマチュアオーケストラのメンバーが
ここ京都に集まり、3日間の研修の成果を発表するコンサートです。

2026年1月12日(月・祝) 14:00開演(13:30開場)

京都市北文化会館

市営地下鉄「北大路駅」下車(出入口1番)
市バス「北大路バスターミナル」下車
京都バス「北大路駅前」下車

入場無料

京都市北区小山北上総町49番地の2(キタオオジタウン内) TEL. 075-493-0567

要・整理券



第25回日本マスタースオーケストラキャンプより(2025年1月)

〈曲目〉

W. A. モーツァルト：交響曲第36番「リンツ」ハ長調
K. 425 (弦楽合奏版：横山 淳 編曲)

〈ヴァイオリン 講師〉

深山 尚久

G. ホルスト：「セントポール組曲」作品29-2

〈チェロ 講師〉

芥川 也寸志：「弦楽のための三楽章」

香月 圭佑

【入場整理券お申し込み方法】

- ① はがき
- ② FAX：0532-33-6875
- ③ メール：info@jao.or.jp
- ④ QRコードからの申込フォーム→



官製はがき、FAX、メールでは、郵便番号、住所、氏名、
年齢、希望枚数を明記のうえ、お申し込みください。
QRコードからの申込フォームでは、必要事項をご入
力いただき、送信してください。

お申し込みは先着順とし、入場整理券がなくなり次第終了とさせていただきます。

応募締め切りは、2025年12月22日(月) 到着までです。



主催：公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO)

後援：京都府・京都新聞

協賛：サーラグループ・サーラエナジー株式会社

※お問い合わせ：公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO) TEL. 0532-33-6885



ヴァイオリン

深山 尚久 Naohisa MIYAMA, Violin

東京生まれ。高校まで久保田良作氏に師事。

東京藝術大学卒業。同大学院修了。ヴァイオリンを海野義雄、浦川宜也、田中千香士の各氏に、室内楽をルイ・グレラー、ピュイグ・ロジェの両氏に、指揮を佐藤功太郎氏に師事。

大学院在学中に東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに就任。以来、新星日本交響楽団、札幌交響楽団、広島交響楽団、神奈川フィルハー

モニー管弦楽団、東京交響楽団、静岡交響楽団のコンサートマスターを歴任。

国内主要オーケストラとの協奏曲の協演や各地でのリサイタル、室内楽活動、放送出演、指揮、教育等、日本の音楽界を担うヴァイオリニストとして幅広く活躍している。また、日本音楽コンクールをはじめ、数々のコンクールに審査員として招かれている。

2020年に刊行した編著楽譜『マザス 30 の特別な練習曲』『マザス 27 の華麗な練習曲』（音楽之友社）は、マザスのエチュード本邦初出版として大きな注目を集めている。

武蔵野音楽大学教授、深山アカデミー主宰、一般社団法人日本弦楽指導者協会会長。



チェロ

香月 圭佑 Keisuke KATSUKI, Violoncello

音楽家の両親のもとに生まれ、10歳よりチェロを始める。玉川大学芸術学科卒業後、桐朋学園大学研究科を経て桐朋学園大学院大学修了。毛利伯郎、ヴァーツラフ・アダミラ、岩崎洸の各氏に師事。スロヴァキア・コシツェ国際青少年チェロコンクール第2位。

これまでに桐朋アカデミー・オーケストラ、オーケストラ・アンサンブル金沢、アンサンブル・ファータモルガーナ（ドヴォルザーク／チェロ協奏曲

を弾き振り）と共演。ガスパール・カサド原智恵子記念祭記念演奏会にソリストとして出演。またカサドの隠れた名曲「ショパンの主題による変奏曲」を日本人初演、収録動画がYouTubeにて公開されている。

オーケストラにおいては横浜シンフォニエッタ、パシフィックフィルハーモニア東京、東京21世紀管弦楽団に首席奏者として客演。

2014年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団し、2018年よりチェロ・フォアシュペラー。

2024年度は首席代行を務めた。

ヴィルトゥオーゾ横浜、CHAKA String Quartet、アルベリ弦楽四重奏団のメンバー。

東邦音楽大学講師を2024年3月まで12年間務め、現在は玉川大学芸術学部非常勤講師。

「高円宮殿下メモリアル 日本マスタースオーケストラキャンプ」について

2000年に第1回を開催した「高円宮殿下メモリアル 日本マスタースオーケストラキャンプ」（略称：MOC）は、当初はシニア世代が交流を深めながら演奏技術を向上させるための研修会として開催してまいりましたが、第12回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを育成することもMOCの重要な役割となりました。

JAO 総裁の故高円宮殿下は、MOCの活動に格別のご関心を示され、第2回（2001年）のキャンプにご来臨くださいました際には、MOCを参加者とともに楽しめました。

ご自身がチェロ奏者でもあり、MOCの前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、第4回よりMOCの名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しています。